

令和4年 4月10日(日) 大川沿いを巡る



水の都を代表する大川は、淀川の旧流路。川沿いは、公園や緑道が整備され、背景には超高層ビルやマンションが建設されている。

天満橋から毛馬閘門・水門まで左岸、右岸を歩いて天満橋まで桜並木道を満喫



与謝蕪村誕生地の碑

距離 9km 参加者 39名 難易度 ○○

①天満橋

体操・点呼



②川崎橋



大阪城と京阪電車



造幣局

③桜宮橋



OAP 大阪アメニティーパーク



けまこうもん
毛馬閘門



おおぜき
淀川の水を循環させる巨大施設「淀川大堰」



沖野忠雄は河川改修と港湾整備に貢献した工学者

与謝蕪村誕生地の碑



江戸中期の俳人・画家で毛馬町出身だそうです。
「春風や堤長うして家遠し」の句が刻まれている。

蕪村公園

昼食タイム



5分おきに上空を通過する飛行機

⑤毛馬橋



阪神高速 12号守口線



④都島橋



③桜宮橋



水の都大阪と言われるように、
今回は橋を注目してみました。
桜も見頃で、青空で最高の一日でした。
淀川の水門は初めて見たので、感動しました。
いくつもの水門に守られている事を再確認です。
与謝蕪村も一海さんの説明で良く解りました。
桜も綺麗で、良かったですね。
流石にお休みで、花見の人が多くて、
コロナを忘れそうになりました。
素晴らしいコースでした。